

試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

令和4年度入学者選抜・試験問題

学校推薦型選抜（公募）

国語

（100点 60分）

注意事項

1. 解答用紙には解答欄以外に記入欄があるので、監督者の指示に従って、解答用紙に正しくマークしなさい。
2. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。
3. 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問に対して③と解答する場合は、次の（例）のように問10の解答欄の③にマークしなさい。

（例）

問	解答欄
10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

4. 問題冊子の余白等は適宜使用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
5. 不正行為について
 - (1) 不正行為に対しては厳正に対処します。
 - (2) 不正行為に見えるような行為が見受けられたら場合は、監督者がカードを用いて注意します。
 - (3) 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

第1問 次の文章を読んで、後の問い(問1～8)に答えよ。なお、設問の都合上、表記を改めたところがある。(配点50点)

A 日本は一九七〇年代以降、出生率の低下に悩まされています。日本の出生率の低下の根本原因は未婚化です。つまり結婚するタイミングが遅れたり、あるいはそもそも結婚しない人が増えたりした、ということですが、日本以外にも少子化に悩まされている国がいくつかありますが、それらの国に共通する特徴が、「家族主義」であることです。

家族主義の国で人々が家族を作らなくなっているというのは、(1)な現象ですね。どうしてこんなことが生じているのでしょうか。家族主義とは、社会の中で家族の果たす役割を重視する考え方です。子育てでも介護でも、家族の役割を第一に考えます。イタリアやスペインなどの南欧諸国や、日本や韓国などの東アジア社会がこれにあてはまります。これに対して家族主義ではない国、たとえばスウェーデンなどでは、子育てや介護の負担を国全体で分かち合おうとします。つまり、政府が保育や介護などの面で手厚く家族をサポートするわけです。

家族主義の国では、家族の役割が重いですから、気軽に家族を作るわけには行きません。ちゃんと機能する家族を作るために、(2)稼ぐ能力のある男性を探さなければなりません。これに対して家族主義ではない国では、家族の負担が軽い分、もともと気軽に家族を作ることができます。これが、家族主義ではない国のほうが出生率が高くなる理由です。

たしかに、一九七〇年代くらいまでは日本でも「家族主義」でうまく回っていました。そのやり方を変えたくない、そのやり方が一番なんだと考えたがる「保守系」の人たちがいても不思議なことではありません。しかしその時期の家族がうまく行っていたのは、高齢の親世代のaジユミヨウが現在ほど長くなく、またきょうだいがたくさんいたために一人あたりの介護負担が比較的軽かったこと、家族を支える男性稼ぎ手の雇用が安定していたこと、といった条件がそろっていたからです。

これらの条件は、すでに失われてしまいました。環境が変われば、当然昔の環境でうまく行っていたやり方は通用しなくなります。ここはひとつ反省して、新しい方針を立て直さなければなりません。いってみれば、政府が率先して **(3)** な生活 **b** キパン **c** をつくって、それによって家族の負担を減らしてやれば、人々は安心して家族を作るようになるわけです。「しつかりとした家族を作らなければならない、そのためには稼ぎのある人と。イッショにならない」と考えているうちは、不安定でリスクのあるこの社会で家族を作ることになかなか **d** 踏み込めないかもしれません。逆に、家族に頼らなくてもそこそこ安定して暮らしていける社会であれば、人々は誰かとイッショになることにそれほど躊躇 **e** しないでしょう。

実はこのことは、社会のいろいろな **e** スイジュン **f** でも同じことです。たとえばグローバルなビジネスにおいても、**B** 「安定」と「リスクを取る」とは結びついています。アメリカの経済学者、ダニ・ロドリックは、国の貿易開放の度合いと、その国の政府の大きさの間にははっきりとした **(4)** がある、と論じています。わかりにくいので噛み **g** クダイ **h** いて言いましょ。国の貿易開放の度合いというのは、その国の経済がどれだけ貿易に頼っているのか、ということなんです。経済全体で輸入や輸出がどれだけを占めているのか、どれくらい海外からの資本（資金）を受け入れているのか、ということですね。

海外との経済交流が **g** サカ **h** になるということは、その国の経済が世界の複雑で見通しにくい構造に組み込まれる、ということなんです。たしかに国際的な経済交流によって全体的な豊かさは増す可能性がありますが、何度か触れた世界同時不況のときのような、予想もしない影響がたまたに訪れることになります。さらにロドリックは、経済がグローバル化すると国内の貧富の格差が **h** カク **i** ダイ **j** しやすいことも **i** シテ **k** キ **l** しています。

ロドリックは、こういった不安定さやリスク、そして格差から国民を守らないと、国際的な経済取引は萎縮してしまうと考えました。 **(5)** 、政府が社会保障制度を通じて一定の安定性を国民に **j** テ **k** キョウ **l** するからこそ、国民はグローバル化に異を唱えないのだ、という理屈です。国

民生活のある程度の安定があるから、国として不安定な仕組みにコミットできる、ということですね。

筒井淳也『社会を知るためには』による

問1 傍線部 a～j の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

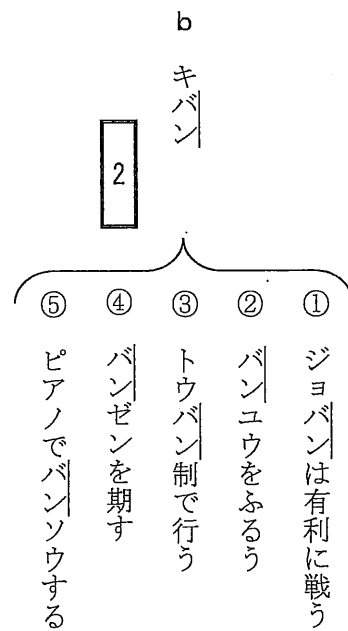
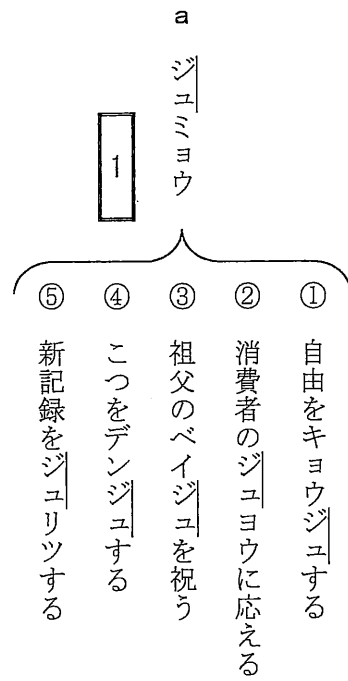
解答番号は

1

～

10

。



c
イツシヨ

3

- ① 古い服をシヨブンする
- ② ユイシヨある神社
- ③ シヨセツが入り乱れる
- ④ シヨミンのな人柄
- ⑤ トウシヨの計画

e
スイジユン

5

- ① 東京の生活にジユンノウする
- ② 構内をジユンカイする
- ③ 教科書にジユンキヨする
- ④ ジユンシヨクして話す
- ⑤ 心がジユンスイである

d
フみ込めない

4

- ① 作家へのトウリュウモン
- ② 注文がサットウする
- ③ 怒りのあまりソツトウした
- ④ 古い習慣をトウシユウする
- ⑤ ボウトウに結論を述べる

f
クダいて

6

- ① 借金をヘンサイする
- ② カツサイを博する
- ③ 写真をケイサイする
- ④ 話がサイゲンなく続く
- ⑤ 敵をフンサイする

g

サカ|んになる

7

- ① セイ|リヨク的に取り組む
- ② セイ|ヒンに甘んずる
- ③ 心よりチユウセイ|を誓う
- ④ ユウセイ|に試合を進める
- ⑤ セイ|ダイな拍手をもらう

i

シテ|キ

9

- ① 脱税をテ|キハツする
- ② テ|キセイな価格を付ける
- ③ 長年のシユクテ|キを倒す
- ④ テンテ|キ注射を打つ
- ⑤ ケイテ|キを鳴らす

h

カク|ダイ

8

- ① 文明からカク|ゼツしている
- ② ウイルスがカク|サンする
- ③ カク|シキ張った振る舞い
- ④ 陰でカク|サクする
- ⑤ テキカク|に指示を出す

j

テイ|キヨウ

10

- ① オンテイ|がくるっている
- ② テイ|ボウが決壊する
- ③ 活況をテイ|している
- ④ 改革案をテイ|ゲンする
- ⑤ 敵状をテイ|サツする

問2 空欄(1)に入るものとして最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 11。

- ① 一般的
- ② 例外的
- ③ 合理的
- ④ 逆説的
- ⑤ 画期的

問3 空欄(2)に入るものとして最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 12。

- ① ちゃっかりと
- ② ぬけぬけと
- ③ しっかりと
- ④ あっさりと
- ⑤ ちまぢまぢと

問4 空欄(3)に入るものとして最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 13。

- ① 創造的
- ② 典型的
- ③ 伝統的
- ④ 民主的
- ⑤ 安定的

問5 空欄(4)に入るものとして最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 14。

- ① 相関関係
- ② 依存関係
- ③ 権力関係
- ④ 因果関係
- ⑤ 循環関係

問6 空欄(5)に入るものとして最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 15。

- ① しかし ② つまり ③ ただし ④ むしろ ⑤ さらに

問7 傍線部A「日本は一九七〇年代以降、出生率の低下に悩まされています」とあるが、それはなぜだと筆者は考えているか。その説明として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 16。

- ① 欧米のような家族主義に転換できず、従来の家族主義のままであるから。
② 女性が男性に頼らず、一人で自立して生きていける社会になったから。
③ 社会状況が変化したのに、家族主義から脱却することができないから。
④ 家族主義がうまく行かなくなり、子どもを持つ意味がなくなったから。
⑤ 政情が不安定であり、政府が子育ての支援をしてくれる保証がないから。

問8 傍線部B『安定』と『リスクを取る』は結びついています」とあるが、これはどういうことか。その説明として最も適当なものを

次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 17。

- ① 世界経済が安定しているからこそ、グローバル化することに国民は異議を唱えないということ。
- ② 危険を顧みず行動する国民が多くいると、国はますます発展していくことになるということ。
- ③ 国が安定した仕組みを持っているならば、国民は経済的に冒険することができるということ。
- ④ 海外から安定的に資金が流入すると、国内の経済が活性化し貧富の格差も縮小するということ。
- ⑤ 足元の生活が安定してはじめて、不安定な国際的な経済交流にも参画できるということ。

第2問 次の文章は、西川美和の小説「ありの行列」の一節で、学会に出席する島の老医師と、留守番を頼まれた医師である男が、患者のと

ころを訪れている場面である。これを読んで、後の問い(問1～12)に答えよ。(配点50点)

老医師は、持ってきた聴診器を耳に当て、胸や腹の音を丹念に聞いては、擦ったり押えたりした。老人はおとなしく診察を受けている。妻の切迫した話のわりには、革のジャンパーを羽織り、頭には野球帽を被り、これから外出でもしそうな出で立ちである。男は、そのうつろな視線が、何となく自分に向けられているような気がして、戸惑いいつも正座して軽く頭を下げたところ、老人は老医師に体を任せながら、空いている両手で頭の上の野球帽を正しく被り直して見せ、家族の笑いを誘った。

「なんか、良うなっとなあ」

「先生来てくれたから、かっこつけとんのや」

一人、A妻だけが不服げだったが、老人は、他人事のようにうんうん、と頷いた。

「昨日は死んだ顔になっとったのに」

うんうん。

「憎たらしい。大体あたしと二人ん時は、こそこそ動き回って言うことときかんくせに、子供やら近所やらが来ると、(1) かぶっておとなしゆうすんのや。ああ、じいちゃん、良きそうやないか、てみんな言うけど、あんたらおる時だけやで、こんなので。いっつもあれは食わん、これはいや、て何こしらえてもちよぼつとしか口つけんのに、子供らの持ってきたもんは、なんでもペロツと食べて見せて、後から下痢やらなんやらして。一体誰が便所まで連れてくのか、ということや」

うんうん。(2) ように始まった妻の愚痴を、しばし寄り集まった者全員が、(3) 肅々と聞かされることになった。

生きて夫と時間を過ごせるのはあとわずかであるところまで来ても、長年連れ添った妻の積もり積もった恨み節は止めることができない。また、それを(4) いさめる者もない。妻は夫の死が間近に迫ってきているということを認識できていないわけはない。かと言って、恨み節は、Bくじけそうになる心をカモフラージュする強がりのような、しやれ込んだものでもありえない。つまりは、夫が死へ向かっているということが、彼女らにとっては、衿をただし、態度を改めるような「非自然」「非日常」ではないということだ。それが彼らの日常であり、最後まで、根強い日常に包まれながら、この老人はなだらかに死へ向かっているのである。

「格好つけよるというのは、まだ、はつきりしとるっちゅうことやな。なんか、食べたいもの、ないか」
「ない」

声量は小さいが、老人は(5) 答えた。

「何なら食べられそうかな」

「うどん食べさせても、おかゆを含ませても、ぐじゅぐじゅ、ぺえ、です」

妻が言葉を挟んだ。

「水も飲まんか」

「お茶だけ。ちよぼつと。吸飲みで」

「お茶なら飲めるか！」

老医師はもう一度老人に向き直り声を張った。

「あ？」

「お茶は飲むのか？」

「ああ。飲む」

「いちばん大事なのは、水気が取れるかどうか。な。吸飲みでなら飲むんやったら、それでなるべく飲めるだけ飲ませてみて。お茶飲めよ、杏きょうさん」

「ああ。飲む」

そう言つて老人は、⁽⁶⁾何か重要な契約を交わすように、老医師の手を握つて頼もしいような握手をした。

下るのは、苦しさはなく、ただただ恐ろしい。震えの止まらない膝から下は、体から独立してしまったように、言うことを聞かなかった。男の隣でひよいひよいと下りながら、老医師は言った。

「先生。あの人、僕の留守の間に、ひよつとすると」

「ええ」

男にも、それは分かった。

老医師によれば、あの老人の衰え方は、ここ三カ月かけて非常に着実な下降線を描いているという。彼自身も、彼の家族も、^Cそれに歯止めをかけようとする者はいない。歯止めをかけるには、あの老人にこの長い長い階段を下らせ、船に乗せ、海を渡り、街の病院に入院をさせるしかない。「歯止め」とは、しかし「蘇生」ではなく、下降線の傾斜の形を狂わせて一時的な回復に導き、生きながらえさせることである。しかし巢へ戻ろうとするありの行列に障害物を置いた時のように、一度方向を見失わせても、またすぐに元の定点へ死を目指し、ゆつくりと、しかし

確実に、下降は再開する。もしも下降に手を出すことをやめたら、それは見事なまでに正確に、迷いなく、緩やかに、美しいカーブを描いて定点に沈んでいくのだ。決して何かが突然回復するようなことはなく、体は自然に動かなくなり、食事も受け付けなくなり、起きている時間も減っていき、最後は息を引き取る。

「今日のあれは、サインかもしれないからね」

「サインですか」

「死ぬ日の前の日なんか、うつらうつらしてたのが、突然覚醒して、何かものを言いつけたり人を呼べって言い出したりしてさ、それでみんな慌てて寄り集まったり相手したりして、あら、良うなったんちゃうか、って思った矢先にコトン、て逝くこと、すごく多いでしょ。今日のあの感じも、それじゃないかな、とね」

「はあ」

「病院で処置していると、そういうサインも狂うから、分かりづらいけど」

「そうですね。そういうのがあったところで、おいそれと人を集めたりもできませんしね」

「D あなたらの立場を、否定してるんじゃないですよ」

「ええ、ええ、分かっています」

男は別に老医師の言葉を (7) と取ったわけではなかった。ただ、下り坂を下りるのに懸命になるあまり、返す言葉の投げ方が、乱雑になつたのだ。

問1 空欄(1)に入るものとして最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

18

- ① 暈かき
- ② 雲
- ③ 冠
- ④ 猫
- ⑤ 埃ほこり

問2 空欄(2)に入るものとして最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

19

- ① 顔色を伺った
- ② 胸襟を開いた
- ③ 堰せきを切った
- ④ 外聞をはばかる
- ⑤ 一矢を報いる

問3 傍線部(3)「肅々と」の意味として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

20

- ① いたたまれない思いで
- ② 不安そうな面持ちで
- ③ 切実に身に染みて
- ④ 嫌々ながら仕方なく
- ⑤ 静かでおごそかに

問4 傍線部(4)「いさめる」の意味として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 21。

- ① 非難する
- ② 忠告する
- ③ 罵倒する
- ④ 助長する
- ⑤ 擁護する

問5 空欄(5)に入るものとして最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 22。

- ① きっぱりと
- ② 弱弱しげに
- ③ いやいや
- ④ 自慢らしく
- ⑤ 傲慢に

問6 傍線部(6)「何か重要な契約を交わすように」とあるが、このような表現方法を何というのか。最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 23。

- ① 反語
- ② 隠喩
- ③ 直喩
- ④ 擬人法
- ⑤ 倒置

問7 空欄(7)に入るものとして最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 24。

- ① 賞賛
- ② 激励
- ③ 忠告
- ④ 皮肉
- ⑤ 妄想

問8 傍線部A「妻だけが不服げだった」とあるが、それはなぜか。その説明として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号は 25。

- ① 夫が身勝手な振る舞いをして自分に世話ばかりかけているのに、人前では見栄を張ることが面白くないから。
- ② 食事がのどを通らないぐらい体調が優れないのに、そうではないように見せかけていることが腹立たしいから。
- ③ 普段は着るものなどに気を遣わないのに、他人が来たときだけは体裁を整えることに合点がいかないから。
- ④ ともに過ごすことができる時間が少なくなってきたのに、そのことに頓着しやくしないことが不満であるから。
- ⑤ 気に入らないと、てこでも動かないのに、気分が乗ると素直になる気分屋であることが非常に癪しやくに障るから。

問9 傍線部B「くじけそうになる心をカモフラージュする強がりのような、しゃれ込んだものでもありえない」とあるが、これはどうい

ことか。その説明として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 26。

- ① 人が死ぬということは自然なことであるということ、分かっていないわけではないということ。
- ② 夫が最期を迎えることに耐えられないことを、取り繕おうとしているわけではないということ。
- ③ 夫を介護することがあまりに大変で、もうやめたいと本当に思っているわけではないということ。
- ④ たまったストレスは発散しているので、疲れて苦しくてたまらないわけではないということ。
- ⑤ 毎日が何も変わらず、同じことの繰り返しであることが嫌になっているわけではないということ。

問 10 傍線部 C 「それに歯止めをかけようとする者はいない」とあるが、それはなぜか。その説明として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 27。

- ① 大きな病院で一時的に回復しても、老医師に変わると、もうそれ以上の回復は見込めないから。
- ② 老人だけではなく、彼の妻も、彼の家族も、老医師も、誰もが死ぬことには変わりがないから。
- ③ 長年住み慣れた自分の家を離れ、街の病院に行くことを老人も老人の家族も望んでいないから。
- ④ もう少しで死を迎え、妻を介護から解放できることが、老人を含め誰もが分かっているから。
- ⑤ 大変な目をして医学的な処置を施したところで、自然の摂理に逆らうことなどできないから。

問11 傍線部D「あなたらの立場」とあるが、これはどのような立場なのか。その説明として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号は

28

- ① 目の前にいる患者の延命や蘇生よりも、医学の進歩に関心を持たざるを得ない立場。
- ② 最期の場面を迎えている患者の家族を集めることを、拒否しなければならない立場。
- ③ 患者がたどっている下降線の傾斜の形を乱すような処置をしなければならない立場。
- ④ 死ぬ前の日や死ぬ直前に突然意識がはっきりすることがあるのを認めたくない立場。
- ⑤ 多くの患者を診ているため、患者からのサインを無視してしまうこともある立場。

問12 この小説はどのような小説であるのか。その説明として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号は

29

。

- ① 都会の大きな病院の歪んだ医療体制を暗に批判した社会的な小説である。
- ② 老老介護が他人事ではなく、身近に存在することを訴えた小説である。
- ③ 死にかけの老人は偏屈で扱いにくいことをありありと描いた小説である。
- ④ 地方の家で自然に死を迎える人と周囲の人の姿を髣髴ほうふつとさせる小説である。
- ⑤ 医師と患者のコミュニケーションの難しさを浮き彫りにした小説である。